

大瀧嶽と太龍寺(太竜寺山)

瀧か、急流か?

空海著作の三教指帰の序文に「阿波国大瀧嶽に・・・」と記された大瀧嶽は、太龍寺のある太竜寺山と考えられています。空海が修行した当時、寺はまだなく、太龍寺の漢字も異なることから、これに疑義をもつ人もいます。また、太龍寺の「龍」は空海の守護神にちなむと言われます。

それでは、大瀧嶽とはどこでしょうか。空海が活躍した時代、「たき」は垂水たるみと呼ばれ、「瀧」は川の急流を意味したという意見があります。太龍寺ロープウェイからまさにそんな風景を眺めることができます。わじきラインから蛇行する那賀川は龍のようにも見え、その地形から幾度も氾濫を繰り返した急流をイメージできます。この川筋こそが大瀧なのかもしれません。



蛇行する那賀川

太龍寺ロープウェイから眺める那賀川。上流はわじきラインという溪流が続きます。うねった川筋が龍のようにも見えます。

大迫力のロープウェイ

全長2,775mの太龍寺ロープウェイは、600mの山越えをするロープウェイです。「遍路ころがし」と呼ばれる難所を回避することができます。ロープウェイからは全山を見渡せる絶景が広がります。



太龍寺絵図(蛇行する那賀川)

ロープウェイの眺望



空海修行の地(舎心ヶ岳)

四国遍路のルーツ

「同行二人」と称して空海ゆかりの地を巡る四国遍路は、空海生誕以前より山岳信仰の修行の地でした。平安時代に弘法大師信仰が広まると、若き空海の修行の地として僧侶たちの間で四国での修行が重要な意味を持つようになりました。平安末期、歌人の西行が、四国行脚の修行の旅と称して空海生誕の地である善通寺に止宿します。また、空海自身も、出家の決意を表した「三教指帰さんごうしいき」の中で、「・・・阿波国大瀧嶽に攀じ登り、土佐室戸岬で念慮に勤しめると・・・」と記しています。

四国遍路のルーツを探して1

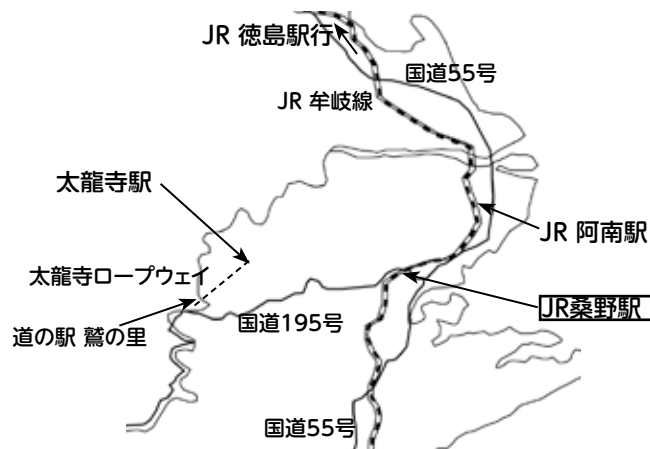
太竜寺山

若き空海の足跡

弘法大師行状絵



アクセス



(太龍寺ロープウェイまで)
JR 桑野駅から徳島バス「和食東」下車、徒歩10分
徳島市内から車で50分



四国学院大学
空海カフェ 2
観光学メジャー

香川県善通寺市文京町 3-2-1 760-8505

<http://shigakuweb.jimdofree.com>

印刷 株式会社 弘栄社

* 大学コンソーシアム香川後援



舎心ヶ岳



護摩堂



本堂

空海修行の地を巡る

空海が語った修行の地1



1.本堂

太龍寺ロープウェイ山上駅を降りて、急な階段を上ると、虚空蔵菩薩を本尊とする本堂があります。

2.大師堂

大師堂の配置が、高野山の橋、拝殿、御廟の配置に似ていることから、太龍寺を「西の高野」と呼ぶことがあるようです。



3.御廟

大師堂の背後には、御廟があります。本寺の建築物は当地域の札所の建築意匠を表しています。



4.納経所

唐門様の屋根をもつ納経所には見事な龍の彫り物があしらわれています。春には桜が迎えられます。



太龍寺ロープウェイ
山頂駅

舎心ヶ岳

国土地理院1/25000地図を利用



6.舎心ヶ岳

空海が悟りを求めて修行をした舎心ヶ岳は、東向きです。虚空蔵菩薩の化身ともされる明けの明星が現れる方角です。空海はこれを眺めていたのでしょうか。

空海の修行(弘法大師行状絵より)

修行する空海の変化

謎が多いとされる若き空海の行動は、空海生誕600年を記念して制作された「弘法大師行状絵」(南北朝時代・右参照)にそれまでの詞書や絵をまとめて描かれています。東寺で編纂された全十二巻からなるこの絵巻のうち、巻二に若き空海の修行の様子が描かれています。

空海自筆の三教指帰に記された阿波国大瀧嶽(おおたきだけ)や土佐国室戸岬での間持修行までは空海が行なった厳しい修行が描かれています。それ以降は、空海が人々のために仏の徳を表したり、神の意で魔物を退治したことが語られています。四国での奇跡としては、讃岐国善通寺の背後に連なる五岳山で修行する空海の前に、釈迦如来が現れた逸話(釈迦湧現)が語られています。

弘法大師行状絵 巻二

1. 登壇授戒とうだんじゅかい
空海と改名
2. 間持修行もんじしゅぎょう
虚空蔵求聞持法の修行
阿波国大瀧の岳
宝剣が飛来した
土佐国室戸岬
明星が口に飛来した
3. 室戸伏龍むろとふくりゅう
毒龍や異類を追い払う
4. 金剛定額こんごうじょうがく
金剛定寺を建立した
魔物を退治した
5. 老姥授鉢ろうろうじゅばち
播磨国で飯を受けた
6. 虚空書写こくうしょしゃ
虚空の経文で魔物退治
7. 釈迦湧現しゃかゆげん
我拝師山で釈迦如来に会う
8. 久米感経くめかんきょう
奈良で大日経に出会った

5.求問持堂

本堂の背後には現在も修行僧が籠る求問持堂があります。写真撮影も控えめに。



空海が眺めた風景(舎心ヶ岳)

